

令和2年度山形応援寄付金（ふるさと納税）の活用について（ご報告）

1 令和2年度の寄附件数・金額

全国各地の皆様から、**64,080件、1,331,007,896円**のご寄附をいただきました。

皆様の山形を応援してくださる温かい想いに、改めて感謝申し上げます。

2 具体的な取組みへの活用状況

寄附金は寄附者の皆様が選択された寄附の使い道をもとに、第4次山形県総合発展計画の政策の柱である5つの分野の取組みに加えて、令和2年7月豪雨災害支援、プロスポーツ・文化施設応援プロジェクト（ガバメントクラウドファンディング）、使途明示型ふるさと納税にそれぞれ活用させていただきました。

(1) 次代を担い地域を支える人材の育成・確保

県立高校の校舎等の整備や、私立の高等学校の授業料等軽減のための支援事業等に活用しました。

活用額：610,296,353円



置賜農業高等学校の整備状況

(2) 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化

畜産業の意欲ある担い手の規模拡大や省力化・生産性向上のための施設整備等の支援や、県産木材の利用拡大等による「やまがた森林ノミクス」の更なる推進のための事業等に活用しました。

活用額：393,714,306円



県内認可保育所等への積み木の提供

(3) 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化

労働生産性の向上を図るための県内企業におけるロボット導入への支援やAIトップエンジニアの養成等のほか、県内労働者の正社員化と所得向上に向けた取組み等に活用しました。

活用額：92,046,937円



企業のロボット導入に向けた研修会の様子

(4) 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり

河川の堤防や砂防施設の整備など防災・減災対策の推進や、健康長寿日本一に向けた県民運動の展開と生きがいを持って活躍できる地域づくりを行う事業等に活用しました。

活用額：149,102,907円



河川整備補助事業（防災・安全交付金）
「吉野川工区（南陽市）」
完成 令和2年10月

(5) 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

福島～米沢間トンネル整備の早期事業化と奥羽・羽越新幹線の早期実現に向けた取組みや、家庭・事業所における蓄電池等の導入に対する助成等に活用しました。

活用額:66,566,583円



山形新幹線

(6) 令和2年7月豪雨災害支援

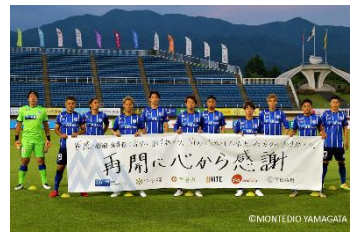
令和2年7月28日に発生した令和2年7月豪雨により被災された方への支援や、災害復旧・支援事業等に活用しました。

活用額:15,280,000円

(7) プロスポーツ・文化施設応援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい運営状況が続いているプロスポーツチームや文化施設の活動を支援するための事業に活用しました。

活用額:2,537,000円



プロスポーツチーム・文化施設での活動の様子

上記の(1)～(7)の取組みに加えて、あらかじめ明示した特定の事業への寄附を募集する「使途明示型ふるさと納税」として計**170件、1,463,810円**のご寄附をいただき、以下の7つの特定プロジェクトに活用しました。

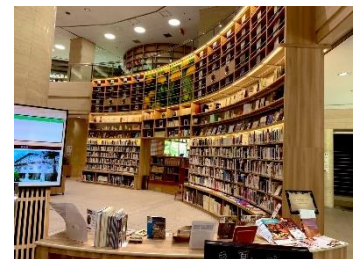
- ① 私立高校生の修学支援事業
- ② 山形県公立大学法人学寮環境整備事業
- ③ やまがた防災力向上加速化推進事業
- ④ 子どもの居場所づくり応援事業
- ⑤ 医療的ケア児支援体制整備事業
- ⑥ はやぶさKIDS育成支援事業
- ⑦ 「日本一美酒県 山形」フェア開催事業
- ⑧ 「やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）」整備事業
- ⑨ 東北農林専門職大学（仮称）等キャンパス整備事業
- ⑩ 山形の人づくり！産業高校応援プロジェクト
- ⑪ 山形県立図書館サービス支援事業



やまぎん県民ホール大ホール



東北農林専門職大学（仮称）イメージ



山形県立図書館

3 山形応援寄付金（ふるさと納税）へのお願い

ふるさと納税を通して寄せられた寄附金は、山形県の発展のために役立てられています。また、本県では、ご寄附いただいた皆様に、返礼品として本県のおいしい農産物や海産物、優れた工芸品等をお贈りしております。今後もぜひ、山形応援寄付金へのご寄附を通して本県を応援いただくとともに、本県の魅力に触れていただきますようご案内いたします。